

平成28年度 事業別予算概要

事業名	20510	広報広聴事業費	予算	会計 1	一般会計	基本目標 6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画		市長公約	開かれた市政の強化に積極的に取り組み、「市民の皆さまの思いと声」を市政に活かします
	款 2			総務費	基本分野 6		協働・行政				
担当課	企画管理部 企画課	内線 2468		項 1	総務管理費	分野 1	協働	実施計画事業	広報広聴事業		
				目 5	広報費	施策概要 3	市民との情報共有の推進	H28実施計画額	95,600 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・市民生活に役立つ情報や必要な情報を容易に得ることができる ・市政運営への理解を深め、行政との信頼関係が構築されている ・市政に対する意見を容易に述べられる機会ができる	概要	事業の実施手法(手段)	・広報紙、地域FM放送により各種行政情報を提供する ・CATVの自主放送番組により各種行政情報を提供する ・「市民と市長の対話集会」を開催し、直接市民の声を聴く ・政策検討市民委員会を開催し、市政への提案・提言を受ける
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を毎月1日・15日に発行し、新聞折込や戸別配布により全世帯に配布 ・地域FM放送にて地域情報・行政情報・緊急情報等を制作・放送 ・CATVの自主放送チャンネルにて「ハイ、市役所です」「週刊高山ニュース」を制作・放送のほか、キッズアナウンサーを募集し市民参画型番組を展開 ・連合町内会単位で市民と市長の対話集会を開催 ・政策検討市民委員会を開催 						
	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
成果指標	政策検討市民委員会からの提案・提言数	件	目標値				
	算出根拠等		実績(見込)	11	10	12	
活動指標	FMラジオ放送回数	回	目標値	3,330	3,330	3,330	3,330
	算出根拠等		実績(見込)	3,606	4,531	4,300	
活動指標	CATV放送本数	本	目標値	180	180	180	180
	算出根拠等		実績(見込)	194	188	180	
活動指標	市民と市長の対話集会の開催回数	回	目標値	21	21	21	21
	算出根拠等		実績(見込)	21	1	15	
成果指標	市民と市長の対話集会への参加者	人	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
	算出根拠等		実績(見込)	736	16	600	
成果指標	市民と市長の対話集会での意見数	回	目標値	350	350	350	350
	算出根拠等		実績(見込)	386	34	300	
補足	・さまざまな情報提供媒体を活用し、それぞれの特性を生かした効果的な行政情報の提供を行っている ・市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会の開催をはじめ、さまざまな手法で市民の意見を聴く機会の充実を図っている ・市民参加条例を制定し、市民の市政への参加を推進している						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市民がどのような情報をどのような形で得ることを望んでいるのかを詳細にとらえることで、さらに情報提供の充実を図ることが可能となる ・広報広聴については、事業担当課と一層の連携を図りながら、発信する情報や市民の意見を聴く機会の充実を図っていく必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・情報提供の充実(新鮮、分かりやすい、親しみやすい)を図るため、CATV、FMラジオにおいて実施している生放送番組を活用し、鮮度の高い情報を提供する	
次年度の実施方針	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・引き続き時代や市民ニーズにあった広報の手法について検討していく (担当課評価に同じ)
	〇 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	92,453	93,352	95,574	95,848
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,004	1,019	1,051	1,054
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・広報紙やFMラジオ、CATVなどの媒体を利用した市政情報の提供 ・広報たかやまの発行、FMラジオ番組の制作・放送、CATV番組の制作・放送 ・市民が市政に対する意見を容易に述べられる機会を設ける ・市民と市長の対話集会の開催、政策検討市民委員会の開催	要求のポイント ・市民が知りたい情報を迅速に得ることができるよう、広報紙やラジオ、CATVなどの媒体から情報発信するための経費を計上 ・FMやCATVの市政番組については、鮮度の高い情報を提供するとともに、市民参画型の番組とするため、引き続き生放送による情報を実施 ・市民と市長の対話集会や政策検討市民委員会など、市民の意見を聴く機会の充実に必要な経費を計上	事業実施の課題 事業担当課と連携した更なる市政情報の充実。
------	---	--	----------------------------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	95,574	95,848	274	105,574	105,574	・積算内容を精査 ・市制施行80周年記念としてPR映像制作等に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	280	280	0	280	280		
一般財源	95,294	95,568	274	105,294	105,294		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	20900	総合計画推進事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約
	款			2	総務費	基本分野		6	協働・行政		
担当課	企画管理部 企画課	内線	2436	項	1	総務管理費	分野	3	行政運営	実施計画事業	総合計画推進事業
				目	9	企画費	施策概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進	H28実施計画額	10,000 千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・総合計画に基づく計画的な行政運営を着実に推進する ・自治体連携を活かした行政サービスを提供する ・年齢、性別、障がいの有無などに問わず誰もが安心して暮らせる環境を整える	概要	事業の実施手法(手段)	・事業評価等の実施や総合計画の進捗管理を行う ・自治体連携を推進する ・ユニバーサルデザインに配慮した取組みを行う事業者の認定や啓発資料・学習資料の作成・活用をする
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・第八次総合計画の策定・事業評価の実施及び公表・市民アンケートの実施 ・総合計画審議会の開催 ・飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会で「オープンカレッジin飛騨」等の事業を実施 ・ユニバーサルデザインに配慮して整備された施設の認定、学習用パンフレットの作成・配布 						
	活動指標	事業評価の実施対象事業数	事業	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		算出根拠等	達成率(%)					
	活動指標	市民アンケート送付件数	件	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000
		算出根拠等	実績(見込)	3,000	3,000	3,000		
	活動指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業件数	件	目標値	7	7	6	6
		算出根拠等	達成率(%)	100	100	100		
	活動指標	飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会主催事業への参加人数・来場者数	人	目標値	47,000	47,000	50,000	50,000
		算出根拠等	実績(見込)	56,778	44,028	45,820		
	成果指標	建築確認における新バリアフリー法への適合件数のうち、誰にもやさしいまちづくり条例に基づき審査対象を拡大したものの	件	目標値	15	16	10	
算出根拠等		達成率(%)						
成果指標	誰にもやさしいまちづくり条例認定件数(累計)	件	目標値					
	算出根拠等	実績(見込)	43	47	51			
補足	誰にもやさしいまちづくり条例に基づき、庁内関係各課において、ユニバーサルデザインに配慮した各種施策が実施されている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な施策評価・事業評価の実施方法を検討する必要がある ・誰にもやさしいまちづくりの推進に向け、普及啓発の手法を充実させる必要がある ・各自治体間の連携について、さらに効果的な手法を検討する必要がある
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・第八次総合計画基本計画において、「目指す姿」として各分野の目標を明確化するとともに、その目標の達成状況を図る物差しとして「まちづくり指標」及び「市民満足度指標」を設定し、後に評価検証を行える仕組みを取り入れている ・誰にもやさしいまちづくり普及啓発の方法について検討している ・誰にもやさしいまちづくりをさらにすすめる上での課題等について関係課と協議を実施する 	
次年度の実施方針	○維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・第八次総合計画に掲げる各施策を着実に推進できるよう進捗把握を行う ・引き続き、誰にもやさしいまちづくり啓発用パンフレットを作成し活用する ・誰にもやさしいまちづくり条例制定からこれまでの取り組みについて見直しを含めて検証する ・各自治体間の連携について、連絡調整体制を強化し、広域的課題を解決するための効果的な手法を検討する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	19,697	10,822	37,900	25,671
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	214	118	417	282
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画審議会の開催・実施計画ローリング、事業評価の実施 ・誰にもやさしいまちづくり推進会議の開催 ・飛騨・世界生活文化センターの活用推進 ・地方創生有識者会議の開催 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な事業評価の実施 ・誰にもやさしいまちづくりをさらに推進するための新たな取組み ・各自治体とのさらなる効果的な連携手法の検討
------	---	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	25,671	15,671	10,138	10,138	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・飛騨地域3市1村広域連携事業については、H27年度3月補正に計上 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	25,671	15,671	10,138	10,138		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	20910 飛騨高山応援事業費	会計	1 一般会計	基本目標	1 魅力と活力にあふれるまち	根拠計画		市長公約 観光産業に関わる団体や企業などが進める「おもてなし」の高度化事業や活動に対しての支援策を充実します
		款	2 総務費	基本分野	1 産業・労働	実施計画事業		
担当課	企画管理部 企画課	項	1 総務管理費	分野	1 観光	H28実施計画額	- 千円	
	内線 2436	目	9 企画費	施策概要	1 地域の魅力が伝わる観光地づくり			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・観光客や移住者の増加及び地場産品の消費拡大等を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・市に縁のある方や高山が好きの方を会員とする飛騨高山「めでたの会」を設立する。 ・市内見学会や意見交換会を実施する。 ・各種情報を提供する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	なし(平成27年度新規事業)							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	飛騨高山「めでたの会」特別会員数	人	目標値	-	-	100	150
				実績(見込)	-	-	100	
				算出根拠等	達成率(%)			100
	成果指標	飛騨高山「めでたの会」現地駐在レポート会員数	人	目標値	-	-	100	150
				実績(見込)	-	-	100	
				算出根拠等	達成率(%)			100
	成果指標	飛騨高山「めでたの会」一般会員数	人	目標値	-	-	1,000	2,000
				実績(見込)	-	-	1,000	
				算出根拠等	達成率(%)			100
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A)		3,000	2,374
	受益者1件当たり(円)		(A/B)		33	26
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)		90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・名刺、情報誌の作成 ・会員の募集 ・市内見学会、意見交換会の開催	要求のポイント	・飛騨高山「めでたの会」の会員の募集等に必要経費を計上	事業実施の課題	
------	---	---------	-----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,374	2,374	2,400	2,400	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源		2,374	2,374	1,900	1,900		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	20930	大学連携推進事業費	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画		市長公約	高山市と協定を結んでいる大学などとの連携を強化しながら、希望する誰もが、高山市で大学の授業が受けられるサテライトキャンパスの設置に取り組みます。また、将来的には、遊休施設などを活用した大学誘致を目指します。
	課			2	総務費		6	協働・行政				
担当課	企画管理部 企画課		予算	項	1	総務管理費	分野	3	行政運営	実施計画事業		千円
	内線			目	9	企画費		1	効率的・効果的な行政運営の推進			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	連携大学(学生)	どうしたいのか(意図)	・大学連携の強化を図り、若者(市外学生)のUJターンや地元定着を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・大学連携アドバイザーの委嘱、当該アドバイザーによる指導・助言 ・本市と連携協定を締結する大学との連絡会議の開催 ・連携大学等が活用できるサテライト機能を持つ場(スペース)の設置
	対象数	7 校					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・文教大学との連携協定の締結 ・連携大学との連絡会議開催 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	大学連携事業推進会議の開催回数	回	目標値				3
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	活動指標	サテライト機能を持つ場(スペース)の設置数	箇所	目標値				1
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	活動指標	サテライト機能を持つ場(スペース)の利用者数	人	目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
	成果面			目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
			達成率(%)					
成果面			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
補足			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
成果指標(サテライト機能を持つ場(スペース)の利用者数)に係る数値目標については、大学連携推進事業連絡会議を進める中で別途設定する。								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)	(A)			1,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			214,286
	受益者	連携大学(4月1日現在)	(B)		

5 予算編成(Action2)

事業内容	・大学との連携事業の推進	要求のポイント	・大学との連携に必要な経費を計上	事業実施の課題	・大学連携の内容のさらなる充実
------	--------------	---------	------------------	---------	-----------------

事業費(人件費除く)	H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,500	1,500	2,000	2,000	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0	400	400		
	一般財源	1,500	1,500	1,600	1,600		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	21410	情報施設整備事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	5	安全で安心して快適に住めるまち	根拠計画	市長公約
				款	2	総務費		基本分野	5		
担当課	企画管理部 企画課	内線	2442	項	1	総務管理費	分野	6	情報	実施計画事業	情報施設整備事業
				目	14	情報化推進費	施策概要	1	地域情報格差の解消	H28実施計画額	千円

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	地域密着型の自主放送番組の発信、公衆無線LANなどの整備の促進により情報通信技術の活用を図ります	概要	事業の実施手法(手段)	市有施設へのCATVサービスの加入を進める
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・CATV未整備地域について、支援民間CATV事業者による情報通信基盤の整備に対する支援							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	活動指標	市有施設のCATVサービスへの加入	施設	目標値	1	0	90	8
				実績(見込)	1	0	90	
				達成率(%)	100		100	
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市域全体でのCATVサービスへのニーズが高まるような番組制作などサービスの充実(行政サービスの提供など)
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	・引き続き未整備地域への情報通信基盤の整備に対して支援することによりCATVサービスの地域格差解消を図る。 ・CATVサービスを活用した公衆無線LAN環境の整備をすすめている	
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善
		拡大
		縮小
		廃止検討
	二次評価	維持・改善
		拡大
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	42,312	159,948	570,300	2,326
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	459	1,746	6,271	26
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市有施設におけるCATVサービスへの加入	要求のポイント	事業実施の課題
------	-----------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		270,300	2,326	△ 267,974	40,525	40,525	・積算内容を精査 ・情報通信環境の整備に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0	16,000	16,000		
	その他			0				
	一般財源	270,300	2,326	△ 267,974	24,525	24,525		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	21580	ふるさと寄附推進事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画		市長公約
				款	2	総務費		基本分野	6		協働・行政	
担当課	企画管理部 企画課	内線	2442	項	1	総務管理費	分野	3	行財政運営	実施計画事業		
				目	15	ブランド戦略推進費	施策概要	4	財政の健全性の確保	H28実施計画額	千円	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・ふるさと寄附件数の増加	概要	事業の実施手法(手段)	・ふるさと寄附のPR ・ふるさと歳時記、寄附の使い道のお知らせの送付 ・お礼の品の贈呈 ・オンライン決済による寄附手続き
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	<ul style="list-style-type: none"> ・お礼の品の贈呈 ・オンライン決済の導入 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	成果指標	ふるさと寄附	件	目標値				
				実績(見込)	38	272	6,000	
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
達成率(%)								
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A)		60,000	67,120
	受益者1件当たり(円)		(A/B)		660	738
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	・ふるさと歳時記や寄附の使い道のお知らせ作成 ・お礼の品の贈呈 ・オンライン決済 ・ふるさと寄附のPR	要求のポイント	・ふるさと寄附の推進に必要な経費を計上	事業実施の課題	
------	--	---------	---------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	67,120	57,120	107,270	107,270	・積算内容を精査 ・ふるさと寄附の推進に要する経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	10,000	67,120	57,120	107,270	107,270		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	25100	統計調査事務費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約
	課			2	総務費	基本分野		6	協働・行政		
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	5	統計調査費	分野	3	行財政運営	実施計画事業	千円
	2436			目	1	統計調査総務費		施策概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進	

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 統計的視点から市の現状を理解する 統計調査結果を研究活動等様々な分野で活用する 政策立案の基礎となる統計調査業務の円滑化を図る 	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査に従事する調査員を確保するとともに、調査員の資質向上のための研修を実施する 各種統計における高山市の数値を取りまとめ、「高山市のあらし」として公表する
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H26実績	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査員の確保 統計調査員研修会の開催 「高山市のあらし」の印刷・発行、市ホームページでの公表 「高山市のあらし」の掲載項目の見直し 						
	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
		「高山市のあらし」の発行回数	回	目標値	1	1	1	1
	算出根拠等			実績(見込)	1	1	1	
	達成率(%)			100	100	100		
	活動指標	「高山市のあらし」の発行部数	部	目標値	150	150	150	150
		算出根拠等			実績(見込)	150	150	150
	達成率(%)			100	100	100		
	活動指標	統計調査員確保数	人	目標値	128	359	551	93
		算出根拠等			実績(見込)	128	359	551
達成率(%)			100	100	100			
活動指標	統計調査員研修会実施回数	回	目標値	1	1	1	1	
	算出根拠等			実績(見込)	1	1	1	
達成率(%)			100	100	100			
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらし」については、さらに見やすくわかりやすくする工夫が必要がある 統計調査員の減少・高齢化に対応するため、継続した確保対策が必要である
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 「高山市のあらし」について、掲載項目等の検討を行っている 公募等、調査員確保対策を行っている 	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務を円滑に実施するため、引き続き統計調査員を対象とした研修を実施する 「高山市のあらし」を引き続き発行するなかで、さらに見やすくわかりやすくするよう工夫する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	116	126	140	160
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1	1	2	2
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 統計調査業務の円滑な遂行を図る。 各種統計調査結果を取りまとめ分析し、行政運営や施策の立案に必要な基礎資料を得る。 「高山市のあらし」発行 統計調査員確保対策事業(統計調査員の資質向上のための研修会開催等)の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 円滑な統計調査業務の実施や「高山市のあらし」発行に必要な経費を計上 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果のさらなる有効活用
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		140	160	20	140	140	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	27	27	0	27	27		
	その他			0				
	一般財源	113	133	20	113	113		

平成28年度 事業別予算概要

事業名	25200	諸統計調査事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	6	みんなでつくる持続可能なまち	根拠計画	市長公約
	課			款	2	総務費		6	協働・行政		
担当課	企画管理部 企画課		内線	項	5	統計調査費	分野	3	行政運営	実施計画事業	諸統計調査事業
	2436			目	2	諸統計調査費		H28実施計画額	8,000 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。	概要	事業の実施手法(手段)	・国・県が行う統計調査事務を受託し、滞りなく実施する。
	対象者数	90,938 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H26実績	・国勢調査、経済センサス-活動調査(準備)の実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H25	H26	H27	H28
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
				実績(見込)				
		達成率(%)						
算出根拠等			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH27対応状況			
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善	
		拡大	
		縮小	
	二次評価	廃止検討	
		維持・改善	
		縮小	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H25 決算額	H26 決算額	H27 予算額	H28 予算要求額
	歳出(千円)		(A) 7,339	16,033	500	7,495
	受益者1件当たり(円)		(A/B) 80	175	5	82
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 92,097	91,605	90,938	90,938

5 予算編成(Action2)

事業内容	各分野における諸事象を把握し、実態を明らかにすることにより、各種行政施策に必要な基礎資料を得る。 ・経済センサス-活動調査 ・工業統計調査(準備)	要求のポイント	各統計調査業務の円滑な実施に必要な経費を計上	事業実施の課題	各統計調査業務の円滑な実施に必要な経費を計上
------	---	---------	------------------------	---------	------------------------

事業費(人件費除く)		H27当初予算額	H28予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	7,495	6,995	7,700	7,700	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	500	7,495	6,995	7,700	7,700		
	その他			0				
	一般財源			0				